

伝言板 No.32(Ｒ元.11)



NPO 法人 北海道みなとの文化振興機構

もくじ

みなとサポート事業	1	北海道開発局防災エキスパート	8
支部長等会議	4	事務局・支部体制	10
助成活動	4		

みなとサポート事業

みなとサポート事業は開発建設部が開催する「みなと見学会」、「みなとパネル展」、「港に関するアンケート調査」などの実施について、当機構に支援要望のあった業務から支援可能な業務を選択して、会員の“みなとサポーター”が支援するもので、平成20年度から実施しています。

札幌支部

石狩湾新港「みなと見学会」

開催日：令和元年6月11日(火)～14日(金)

開催場所：石狩湾新港港内

開催概要：小樽開発建設部小樽港湾事務所が、石狩市内10小学校の児童(3年生・4年生・5年生)538名を対象に、みなとの歴史や利用状況などについて、パネルを使用しての座学と、楽しみな港湾業務艇「ひまわり」からのみなと見学。

サポーター：1日2名で8名が支援

支援内容：ライフジャケットの着脱、タラップの設置及び取外し補助・児童乗降時の安全確認、記念撮影の集合補助、当機構記念グッズの配布、送迎バスの見送り



石狩湾新港

小樽港「みなと見学会」

開催日：令和元年7月14日(日)

開催場所：小樽港港内

開催概要：毎年、海の日前日の日曜日に開催される、マリン・フェスタ in 小樽の中で一般市民100名を対象に、みなとの歴史や利用状況などについて学習し、港湾業務艇「ひまわり」によるみなと見学。

サポーター：4名が支援

支援内容：ライフジャケットの着脱、乗船場への誘導及び安全確認、当機構記念グッズの配布



小樽港

岩内港「みなと見学会」

開催日：令和元年7月17日(水)

開催場所：小樽港港内

開催概要：岩内町内2小学校の児童(3年生)105名と引率教諭7名が、港湾業務艇「ひまわり」に乗船して、みなとの歴史や利用状況などについて学習。

サポーター：2名が支援

支援内容：ライフジャケットの着脱、タラップの設置及び取外し補助、児童乗降時の安全確認、記念撮影の集合補助、当機構記念グッズの配布、送迎バスの見送り



岩内港



室蘭支部

室蘭港「海の日パネル展」

開催日：令和元年7月15日(月)

開催場所：道の駅「みたら室蘭」2階

開催概要：市民生活と室蘭港の関わりについて広く理解していただくために、室蘭開発建設部室蘭港湾事務所が、港湾事業整備およびそれらの目的などのパネル、室蘭港関係の模型などを展示。

当日の来場者は約500名。

サポーター：1日3名が支援

支援内容：来場者の誘導、パネルおよび模型の説明、当機構記念グッズの配布



室蘭港

函館支部

函館港「はこだてマリンフェスティバル2019」

開催日：令和元年7月20日(土)・7月21日(日)

開催場所：「函館港パネル展」函館国際水産・海洋総合研究センター

「函館港みなと見学会」函館港湾事務所(20日)・弁天地区岸壁(21日)

開催概要：「はこだてマリンフェスティバル」に協賛して、函館開発建設部函館港湾事務所が港湾事業の理解と啓発を目的にパネル展を開催、2日間で約400名が来場した。みなと見学会は港湾業務艇「みずなぎ」に乗船し、事務所職員から港湾施設の目的、利用状況などの説明を受けながら港内を一周した。参加者は2日間で142名。

サポーター：2日間で3名(延べ4名)

支援内容：パネル展では、港湾パネル、港湾施設模型、潜水士用具などの説明・会場整理、当機構グッズの配布
見学会では、乗船者へのライフジャケット着脱、乗船誘導および警備、グッズの配布



函館港

支部長等会議

事務局と各支部の情報を共有し、みなとサポート事業、みなとパネル展、みなと座談会などの事業実施を円滑に進めることを目的に、毎年開催しています。

6月12日(水)正午からセントラル札幌北ビル5階、(一社)寒地港湾技術研究センター会議室にて、当機構支部長等会議を開催しました。会議の構成は当機構理事長、事務局長、事務局次長、札幌支部、函館支部、苫小牧支部、釧路支部の支部長および支部次長の19名(室蘭支部は今回より苫小牧支部に包括)が参加しました。開催にあたり理事長から挨拶をいただき、事務局長の説明により議事に入りました。

議事概要

- ①事務局・支部体制(事務局14名、各支部8名)
- ②事務局主要業務内容と実施状況
- ③みなとサポート事業の実施計画等、登録者49名(6月現在)

- ④その他業務旅費支給規定
- ⑤港湾キャラクター(着ぐるみ貸付事業)使用計画
- ⑥グッズ作成配布(B6版ノート・ボールペン&マーカー・シール)
- ⑦防災エキスパート登録者32名(6月1日現在)・連絡体制など
- ⑧助成事業(一般の部10件、特定の部6件)
- ⑨その他・意見交換等、サポート事業の実施概要



支部長等会議

助成活動

道内のみなとまちの活性化を目指し、企画・実施されるイベントなど、みなとまちで実施される様々な事業を支援し、さらなる「みなとまちの活性化」に寄与することを目的に「助成事業」を平成20年から実施しています。

12回目となる今年度は、各開発建設部の「みなとの相談窓口」を通して推薦していただくと共に、当機構のホームページおよび広報誌「伝言板」で募集要領を公表し、平成31年4月1日から令和元年5月7日にかけて募集しました。

評価審査委員会

今年度は一般の部12団体から12件、特定の部6団体から6件の申請がありました。採択事業を決定するため5月16日(木)、午後から(一社)寒地港湾技術研究センター会議室にて「評価審査委員会」を開催しました。

委員会は、当機構理事長、寒地港湾技術研究センター理事長、学識経験者の3名で構成され、当機構事務局長が応募資料を説明し審査に入りました。審査は、地域住民との連携、過去の開催実績などを考

慮し、一般の部は10件、特定の部は6件の16事業を採択し、5万円から10万円を助成しました。



評価審査委員会

(一般の部)

	活 動 名 団 体 名	活 動 目 的 活 動 内 容	開 催 日 開 催 場 所
①	・海の日コンサート ・みなとまちづくり 女性ネットワーク室蘭	・海の日に市民に海にちなんだ歌を歌ってもらい、 港湾、漁港などへの関心と港湾事業への理解を深 めてもらう ・海の日に市民が集う水族館でコンサートを開催	・ 7月15日(月) ・ 室蘭市水族館
②	・漁港区の美化活動 ・みなとコンサート ・女性みなと街づくり苫小牧	・苫小牧港漁港区のホッキまつりに合わせて、フラ ワーポットを設置し美化を推進する ・苫小牧市民文化団体協議会と協同して、みなとに 立地する施設を活用し、演奏会とパネル展を同時 に開催して港をPR	・ 8月・10月・12月 ・ 苫小牧港漁港区屋 根付岸壁ほか
③	・WAKKANAI みなとのコン サート2019 ・稚内のみなとを考える女性ネッ トワーク	・最北稚内の夏を楽しみながら市民と共に「みなと」 の重要性を考える機会とする ・稚内の観光名所である歴史的建造物「北防波堤 ドーム」内の特設ステージで音楽会を開催	・ 7月13日(土) ・ 稚内北防波堤ド ームステージ
④	・深層水まつり ・深層水まつり実行委員会	・岩内町民や町内外の企業に向け、イベントを通じ て、深層水の様々な活用方法や利用効果をPR ・深層水利活用ボードの設置のほか、大型水槽のお さかな展示や豆知識の充実	・ 9月・3月 ・ 岩内町地場産業サ ポートセンター
⑤	・紋別港防波堤イルミネーション 事業 ・みなと・まちづくり 女性ネットワークオホーツク	・防波堤などにイルミネーションを設置し、景観を 向上することで冬季の観光客の誘客及び周辺施設 の利用促進を図る ・オホーツクタワーに接続する親水防波堤などにイ ルミネーションを設置	・ 1月～3月 ・ 紋別市海洋公園



③ WAKKANAI みなとのコンサート 2019



④深層水まつり

	活 動 体 名	活 動 目 的 活 動 内 容	開 催 日 開 催 場 所
⑥	<ul style="list-style-type: none"> みんなで楽しむ釧路港おまつり広場 釧路港みなとオアシス協議会 	<ul style="list-style-type: none"> 「おまつり広場」を作ってクルーズ客と市民の交流促進を図ると共に、若年層がクルーズについて知るきっかけを提供する 地元演奏家による北海盆歌の生演奏や、浴衣などの着付けサービスも実施 	<ul style="list-style-type: none"> 8月18日(日) 釧路港旅客船ターミナル
⑦	<ul style="list-style-type: none"> 歩いて楽しむ函館観光マップ作製 みなとまちづくり女性ネットワーク函館 	<ul style="list-style-type: none"> 函館港若松地区クルーズ船岸壁が本格共用され、クルーズ船客の満足度の向上を図るため、女性目線の函館駅周辺の散策観光マップを作製配布 外国人対応の英語表記を計画 	<ul style="list-style-type: none"> 9月 函館 JR 駅周辺
⑧	<ul style="list-style-type: none"> 観光客と町民との「おもてなし交流イベント」 鵜泊港活性化推進協議会 	<ul style="list-style-type: none"> 観光客がピークになる「海の日」に、観光客と町民とのイベントを体験することで、みなとの活性化と利尻島を元気付ける 会場は、漁具や大漁旗を飾り、「魚貝類の採る、食べる」など体験メニューで交流。 	<ul style="list-style-type: none"> 7月14日(日) 利尻富士町鵜泊港緑地公園
⑨	<ul style="list-style-type: none"> 「網走港 100 年の歩み」パネル展示会 網走港振興協議会 	<ul style="list-style-type: none"> 網走港修築 100 周年を迎えることから、その歴史を振り返る展示会を開催 パネル写真のほか、網走港にクルーズ船が帰港した際に寄贈された記念品や網走港内の施設の模型などを展示 	<ul style="list-style-type: none"> 7月10日(水)～7月19日(金) オホーツク文化交流センター
⑩	<ul style="list-style-type: none"> 第5回よいち旬鮮祭 余市漁業協同組合 	<ul style="list-style-type: none"> 余市町の基盤産業である、漁業、水産加工業、青果業の活性化と地元製品のPR、また、ふれあいの場を提供して港の活性化を図る 漁業組合市場で旬の鮮魚、水産加工品、青果の販売と無料漁船乗船体験の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 8月25日(日) 余市港、漁業協同組合市場



⑧観光客と町民との「おもてなし交流イベント」



⑨「網走港 100 年の歩み」パネル展示会

(特定の部)

	活 動 名 団 体 名	活 動 目 的 活 動 内 容	開 催 日 開 催 場 所
①	<ul style="list-style-type: none"> ・むろらん港鉄人舟漕ぎ大会 ・むろらん港鉄人舟漕ぎ大会 実行委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・港に対する市民の理解を深め、多くの人に交流の場を提供することで、地域活性化に寄与する ・漕ぎ手6名、艇長・旗持ちの8人が全長150mのコースをタイムで争うレース 	<ul style="list-style-type: none"> ・9月8日(日) ・室蘭港入江地区中央ふ頭
②	<ul style="list-style-type: none"> ・みなと南極まつり稚内副港 ボートレース2019 ・稚内地元愛育成協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ・稚内港を市民と連携した交流拠点機能を拡充するためボート競技のイベントを開催し、にぎわい交流拠点の確立を目指す ・漕ぎ手8名、音頭、舵りの10名が往復160mのコースをタイムで争うレース 	<ul style="list-style-type: none"> ・8月4日(日) ・稚内港第一副港
③	<ul style="list-style-type: none"> ・釧路港舟漕ぎ大会 ・釧路港舟漕ぎ大会実行委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・釧路港の利用促進に携わる有志が、海上を舞台に競うことで感動するイベントを開催し、活気ある港まちづくりを目指す ・漕ぎ手6名、声かけ、旗持ちの8名が往復200mのコースをタイムで争うレース 	<ul style="list-style-type: none"> ・8月3日(土) ・釧路港幣舞橋上流
④	<ul style="list-style-type: none"> ・苫小牧港はすかつぶ ボートレース ・苫小牧港はすかつぶ ボートレース実行委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの市民に港に足を運んで楽しんでいただき、港に対する親近感を醸成する事で港まちづくりに貢献する ・1チーム5名で港内220mの周遊コースをゴムボートでタイムを争うレース 	<ul style="list-style-type: none"> ・8月3日(土) ・苫小牧港西港区北埠頭
⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・函館港まつり協賛函館 ペリーボート競漕 ・函館ペリーボート競漕 実行委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・マッシュ・ペリーが函館来航時の様相を海のパフォーマンスで表現し、歴史的な開港の事実を参加者一同で共有 ・漕ぎ手6名、ドラ鳴らし、舵りの8名で往復150mコースをタイムを争うレース 	<ul style="list-style-type: none"> ・7月28日(日) ・函館港南ふ頭
⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・いかだレース大会 ・小樽築港バイエリア委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・「海で・港で・舟で」の遊び知らない子供達や、近隣住民の「憩い、潤い、賑わい」を創造して、小樽港を活性化させる ・小学校4年生以上の参加で、ゴムタイヤいかだを使用するレース 	<ul style="list-style-type: none"> ・8月18日(日) ・小樽港若竹臨海公園前



②みなと南極まつり稚内副港ボートレース2019



④苫小牧港はすかつぶボートレース写真

北海道開発局防災エキスパート (港湾・空港・漁港)

平成 18 年 10 月に発足した防災エキスパート（港湾・空港・漁港）制度は、港湾、空港、漁港施設などの整備、管理の専門知識を有した当機構エキスパート登録者が、北海道開発局港湾空港部から要請を受け、各開発建設部で大規模災害時などの支援活動や防災訓練を実施するものです。

令和元年度

岩内港大規模地震・津波総合防災訓練

北海道開発局と北海道開発局小樽開発建設部と岩内町（港湾管理者）主催による「岩内港大規模地震・津波総合防災訓練」が7月27日（土）10時より岩内港新港東埠頭-7.5m岸壁で開催した。

参加した機関・団体は、第一管区海上保安本部、小樽海上保安部、陸上自衛隊北部方面隊第11旅団、北海道札幌方面岩内警察署、岩内・寿都地方消防組合、（一社）日本埋立浚渫協会北海道支部、（一社）日本海上起重機技術協会、全国浚渫業協会北海道支部、北海道港湾空港建設協会、（一社）日本潜水協会、（一社）海洋調査協会、（一社）港湾技術コンサルタント協会、北海道ポートエンジニアリング協会、北海道開発局港湾・空港・漁港防災エキスパート、小樽建設協会、小樽港湾事務所工事安全連絡協議会、北陸地方整備局の17機関・団体。

訓練目的は、北海道南西沖を震源とする大規模地震及びこれに伴う津波の襲来による災害によって港

湾施設に被害が発生した場合の港湾機能の早期回復などに備え、関係機関との連携強化ならびに防災意識の向上を目的とした実動訓練。

訓練は午前10時ごろに、北海道南西沖を震源とするマグニチュード7.8の地震が発生し、岩内町で震度5強の強い揺れが発生し、地震発生直後に大津波警報が発表され、最大4.7mの津波が襲来。その後、津波注意報に切り替わり、津波注意報が解除されたとの想定で実施された。

訓練は、開会式に引き続き①津波襲来に備えて避難訓練、②北陸地方整備局所管の大型浚渫兼油回収船「白山」から支援物資を避難場所へ輸送する緊急支援物資輸送訓練、③港湾施設の被災状況を北海道開発局の要請で被災状況を調査する被災状況調査訓練、④津波により被災を受けた漂流者をボートで捜索救助する漂流者捜索・救助訓練、⑤津波による港湾施設の被害や油流出の状況把握のためのヘリコプターによる広域海上点検訓練、⑥港内の海面に油が浮遊している状況想定し、巡視船による油拡散訓練、⑦大量の油が流出したことを想定して、大型浚渫兼



防災訓練開会式



被災状況調査訓練

油回収船「白山」による油回収訓練を実施した。あいにく、強風のため⑤～⑦は訓練を中止した。

当防災エキスパートは4名が③番の被災状況調査訓練に参加し、防災エキスパートリーダーの号令によりエキスパート3名と開発局職員1名によりレベルとテープで岸壁の被災状況を測量した。

TEC-FORCE 研修の聴講

令和元年6月26日(水)、7月17日(水)の両日北海道開発局苗穂研修センターで開催した、北海道開発局防災課主催の TEC-FORCE 研修の聴講に防災エキスパート各5名(延べ10名)が参加しました。

研修内容は、午前の部は防災課から北海道開発局 TEC-FORCE の緊急災害対策派遣隊について、午後の部は派遣隊の活動報告について、室蘭開発建設部治水課より平成28年熊本地震における対応の説明、平成30年7月7日～13日中国地整における派遣隊の活動報告、札幌岩見沢河川班より平成30年7月豪雨における活動、又営繕部からも派遣隊の活動報告等について説明がありました。



TEC-FORCE 研修状況





■ 事務局・支部体制

令和元年度の事務局体制について、7月に3名が退任し、新たに3名の方が参加し13名で活動しています。また、支部体制につきましては室蘭支部を苫小牧支部に包括し、引き続き活力あるみなとまち作りを会員の皆様と共に進めてまいりますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。

事務局

役職	氏名	役職	氏名
事務局長	福岡康宣	事務局次長	大前豊
事務局次長	東志郎	事務局次長	高田稔年
事務局次長	市来隆	事務局次長	秋葉洋一
事務局次長	渡部優	事務局次長	渥美洋一
事務局次長	三原一憲	事務局次長	鈴木一行
事務局次長	斉藤賢悦	事務局次長	今宗紀
事務局次長	宮部秀一		

支部

役職	氏名	役職	氏名
札幌支部長	石島隆司	苫小牧支部長	小山良明
札幌支部次長	澤合英治	苫小牧支部次長	秋葉洋一
函館支部長	川村求	釧路支部長	平山裕義
函館支部次長	鈴木勝晴	釧路支部次長	本間久雄

事務局連絡方法

当機構事務局への連絡は、下記のいずれかをお願いします。

Tel : 011-727-3710 Fax : 011-727-3710 E-mail : bunka-npo@kanchi.or.jp

なお、事務局は、常駐体制でないことから、ご返事を差し上げるまで一週間程お時間をいただくこともございますので、何卒ご了承をお願いします。

また、当機構の活動状況は、ホームページでご覧になることができます。

<http://www.minatobunka-npo.info/>

特定非営利活動法人

北海道みなとの文化振興機構

〒001-0011 札幌市北区北11条西2丁目2番17号
セントラル札幌北ビル5F